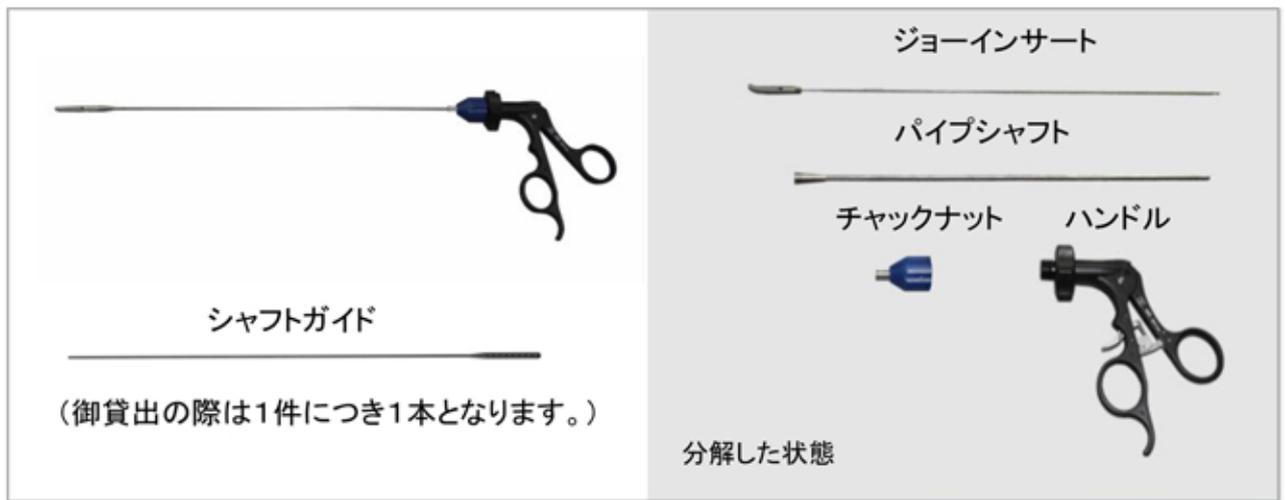


細径鉗子

Endo Relief はじめてガイド

1. まず、内容物を確認しましょう。

細径鉗子 Endo Relief



シャフトガイド Plus (希望)



Relief ポート (希望)



本体—再使用可能

シールバルブ・キャップ・ストッパー—使い捨て



2. ご使用前の準備

① 部品をすべて分解し、医療用中性洗剤を用いて洗浄する。

ジョーインサートとパイプシャフトは、使用后必ず分解してください。

内視鏡機器のプログラムが設定されている自動洗浄器を使用してください。

超音波洗浄は必要に応じて行ってください。(ただし、5分以内。ハンドルは推奨しない。)

② 脱イオン水ですすぎ、すぐに乾燥させる。

③ すべての作動部に水溶性潤滑防錆剤を注入する。

④ 分解したまま、ハンドルラチェットは解放した状態で、高圧蒸気滅菌またはエチレンオキシドガス滅菌する。

オートクレーブ滅菌 プレバキューム式 134℃ 5分 推奨

注意—ステラッド滅菌の適合性は未確認ですので、現時点では処理しないでください。

3. 使用方法

- ①ジョーインサートをパイプシャフトに挿入し、先端ジョー一部のネジをしっかりとねじ込む。

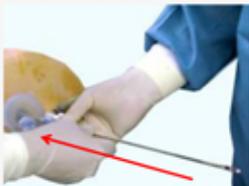


「シャフトガイドPlus」を用いる方法

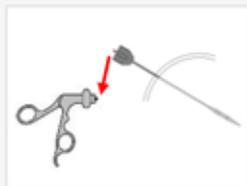
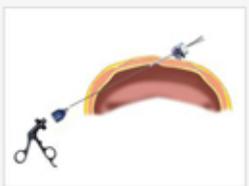
- ②シャフトガイドPlusで、穿刺を行い、内針を抜去する。
- ③5mm トロカーから挿入した腹腔鏡を引き抜きながら、②の外筒を5mmトロカーに向けて入れていき、腹腔外へ出す。
外筒の先端に、①のハンドル側末端を連結させる。



- ④連結したまま、ジョーインサートを押しこんでいく。
ジョーインサートのハンドル側末端が腹腔外へ出たら、外筒との連結をはずす。
ジョーインサートの先端ジョー一部が腹腔内に入るまで引く。

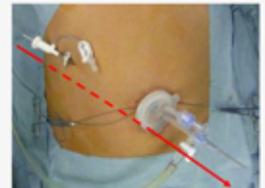


- ⑤ジョーインサートのハンドル側末端にチャックナットを装着する。
ハンドルを開き、ジョーインサートの先端ジョー一部が閉じている状態で、ジョーインサートのハンドル側末端の球体部をハンドルの溝に挿入し、ハンドルを装着する。



「Reliefポート」など細径ポートを用いる方法

- ②シャフトガイドをReliefポートから挿入する。
5mmトロカーから挿入した腹腔鏡を引き抜きながら、シャフトガイドを5mmトロカーに向けて入れていき、腹腔外へ出す。



- ③シャフトガイドの先端に、①のハンドル側末端を連結させる。



- ④連結したまま、ジョーインサートを押しこんでいく。
ジョーインサートのハンドル側末端がReliefポートから腹腔外へ出たら、シャフトガイドとの連結をはずす。
ジョーインサートの先端ジョー一部が腹腔内に入るまで引く。



- ⑤ジョーインサートのハンドル側末端にチャックナットを装着する。
ハンドルを開き、ジョーインサートの先端ジョー一部が閉じている状態で、ジョーインサートのハンドル側末端の球体部をハンドルの溝に挿入し、ハンドルを装着する。

「Reliefポート」を使用する場合

必ず、挿入する鉗子類のシースに滅菌済潤滑油を塗布すること。[シールバルブの損傷及び腹腔内への脱落を引き起こす恐れがある]